

紙上で体験！

## 水害時の避難訓練

水害時は自宅の場所によって避難が必要な場合と自宅での待機が望ましい場合があります。まずはハザードマップを確認し、避難する必要があるかを確認しましょう。

また、避難所では新型コロナウイルス感染症の対策を行うため、受付の前に検温と問診を行います。避難所に避難する場合に備え、紙上で体験してみましょう。

## 避難の必要性を確認しよう

### ①ハザードマップ（4種類）を確認！

洪水ハザードマップ（多摩川氾濫版・野川氾濫版）  
内水ハザードマップ  
土砂災害ハザードマップ



◀ハザードマップはこちらから

### ②避難の必要性を確認！ ひとつでもチェックが入ったら避難が必要です。

#### 自宅の危険度チェックリスト

- 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域（この枠 ）の範囲内である
- 自宅周辺の想定浸水深より高い場所が自宅にない
- 土砂災害警戒区域内である

→ 当てはまらなければ自宅待機。外出は控えましょう。

## 水害時に避難が必要

### 避難所に避難した場合の流れ

まずは体育館に

上履きは必需品！



検温と問診を受ける



最初に検温と問診を受けます。

受付カードを記載



受付カードを記載します。

以下のいずれかに当てはまる方は  
専用のスペースへ

- 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者である
- 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者である
- 検温や問診で新型コロナウイルス感染症の疑わしい症状がある



発熱者等専用スペースには  
3種類の部屋があります。

- ①発熱者等スペース
- ②濃厚接触者スペース
- ③自宅療養者待機スペース

配慮が必要な方は※  
福祉避難スペース受付へ



福祉避難スペースへ

※高齢者、障がい者、  
乳幼児など



福祉避難スペースには  
3種類の部屋があります。

- ①高齢者・身体障がい者スペース
- ②乳幼児・妊産婦スペース
- ③知的障がい者・精神障がい者スペース

受付へ提出



一般避難スペースへ



飲み物や軽食など必要なものは持参しましょう！

